

2020年4月12日 主日礼拝 <イースター>

司 会
奏 楽
祈 禱

賛 美 聖歌171番「世人よ歌え、ハレルヤ！」
(172番「墓の中に」)(愛と賛美み父に・Glorify Thy name)

主の祈り

聖 書 ① コリント人への第一の手紙15章50～58節(P276)
② マタイによる福音書28章1～10節 (P49)
③ マルコによる福音書16章1～8節 (P81)

音 楽 聖歌隊&アンサンブル(V)

メッセージ ① 「神の国を継ぐ為の秘訣」 丸藤剛介伝道師
② 「再開と再会の希望」 佐々木智行副牧師
③ 「歴史的悲劇と喜劇」 大川従道主任牧師

賛 美 「いざひとよ！」(聖歌168番) 献金
頌 栄 「Holy,Holy,Holy. And He shall reign forever and ever,
King of Kings, and Lord of Lords」 Amen

祝 禱

「私は宣言します。『神様こそ私の避難所、また安全地帯です。この神様への信頼を失うことはありません。』」
(詩篇九十一の二・リビングバイブル)

【大和ニュース】

☆イースターおめでとうございます。心から主の復活を感謝し、特別な復活の喜びを祈ります。今日も「映像礼拝」「ユーチューブ礼拝」ですが、共に主を賛美し、リバイバルの夢をもって前進いたしましょう。

* 今週のすべての集会は、ユーチューブを用いて配信します。ご期待下さい。
(東京カルバリーチャペルも、大和に合流です。)

・ 今週の祈禱会もユーチューブ配信で、会堂は封鎖します。ご理解下さい。

①水曜夜 ②木曜朝 ③金曜夜 説教者は坪井永城先生です。

・ 毎朝の「早天祈禱会」は、礼拝堂でなされます。火曜～金曜 6時から45分間。

* 礼拝献金、月定献金はゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行、クレジットカードでも可能です。

石の枕

緊急事態宣言 各新聞の一面のトップをこれ以上大きな活字はないかの如く踊った。今の時代は、すでに国民のすべてが、前日には、この現実を知っていたが、あらためて大字が出ると、号外かの如く緊張した。

人類はいま、特効薬やワクチンがまだ見つかっていないウイルスとの過酷な闘いのまただ中にある。宣言の狙いは医療崩壊を防ぎ、死亡者や重症者を可能な限り少なくとどめることにある。私たち教会人も、すなおに、この宣言を受け入れ、社会の中で良き証人でありたい。

もっと恐ろしいことは、今回のパンデミックが終息したとしても、新たな未知の感染症が発生し、広がるリスクは常にある。日常生活の背後に『人類レベルの危機』がいつ忍び寄るか分からないことを、私たちは知ってしまったこと。

であるからこそ、キリストによる救いが必要不可欠な福音であることをお伝えしなければならない。受難週の真中で、この宣言が発されたことは、福音宣教の重要性を自覚し、「この人による以外に救いはない。」(使徒行伝5の12)ことを、大胆に、愛をもって伝えなければならない。その使命を自覚したい。

私の好きな詩人が、新聞の花係で香りを放ってくれている。

「散ればこそいと桜はめでたけれ

うきよになにか久しかるべき」 (伊勢物語:ピーター・マクミラン)

現代語訳「散るからこそ一層桜はすばらしいのです。この無常の世に、何が久しく永らえるでしょうか(いいえ、永遠のものなどないのです)」

儂(はかな)いからこそ桜はよいと言ってみせるこの歌の美学を「儂さへの美学」とでも呼ぼうか。——外国人の私だからこそ、桜の儂さに自らの境遇を映したこの歌に、深く共感を覚えるのかもしれない。

スゴイ、というよりスゲー外国人といたい。しかし儂さの美学をこえて、永遠の世界を知ってほしい。今日はイースター。主が復活されただけでなく、私たちも、死で終息するのではなく、その後も永遠に生きる世界をいただいていることを自覚して、喜び勇んで歩み続けたい。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
Aコース:ルカ13章～16章 Bコース:サムエル上10章～26章